

人間情報工学実験II

学科DP指標	備考	到達目標	備考	レベル3(S~A)	レベル2(A~B)	レベル1(B~C)
G 【協働を通じた自己管理能力】	○	先行研究を踏まえて、実験を協働して立案・実施し、取得データを分析することができる(G).	・実験 ・レポート (序論~結果)	レベル2の内容に加え、多様な先行研究の知見に基づき、新規性を考慮した実験を立案することができる。	レベル1の内容に加え、多様な先行研究の知見に基づいた仮説を立て、実験を立案することができる。	人間情報工学実験Iの実験方法を応用し、協働して実験を立案・実施し、取得したデータを分析して図表にまとめることができる。
E 【複合的な工学応用力】	◎	実験結果について、考察した内容をレポートにまとめ、プレゼンテーションし、他者と議論することができる(E).	・レポート (結果~結論) ・プレゼンテーション	レベル2の内容に加え、国内外の多様な先行研究の知見に基づき、実験結果を考察することができる。	レベル1の内容に加え、多様な先行研究の知見に基づき、実験結果を考察することができる。	人間情報工学実験Iの内容に加え、実験結果を考察し、その内容を指定の方法で発表(議論を含む)することができる。

学科DP指標

- G.【協働を通じた自己管理能力】多様な他者との協働の中で自己の役割を認識、表現し、自己管理をする力を身に付けている。
- E.【複合的な工学応用力】情報工学の知識を基盤として、生体機能学、機器設計学に関する幅広い知識と、それらを複合的に応用できる思考力、判断力を身に付けている。